

市役所等公共施設整備ワークショップ  
実施報告書

平成30年11月

長久手市総務部財政課

## 目次

I	市役所等公共施設ワークショップの概要	1
II	新庁舎などに関する意見（ワークショップのまとめ）	5
III	各回開催結果（ワークショップ通信）	12

## I 市役所等公共施設ワークショップの概要

## 1 はじめに

この市民ワークショップは、平成28年12月に策定した「市役所等公共施設整備基本計画」の中にもあるように、市民目線を本計画に盛り込むために、庁舎機能のあり方、庁舎機能以外のサービス機能、本庁舎位置、整備時期、建物構造等について住民意向を広く収集することを目的に、ワークショップを実施しました。この報告書は、全5回にわたり開催した「市民ワークショップ」の中で出された意見をとりまとめたものです。今後は、これらの意見を踏まえ事業を進めていきます。

## 2 開催日時及び会場

	日 時	会 場
第1回	平成30年3月11日（日） 午後1時30分から午後4時30分まで	市役所西庁舎3階 研修室
第2回	平成30年4月21日（土） 午後1時30分から午後4時30分まで	市役所西庁舎3階 研修室
第3回	平成30年5月20日（日） 午後1時30分から午後4時30分まで	長久手交流プラザ1階 多目的室
第4回	平成30年6月23日（土） 午後1時30分から午後4時30分まで	市役所西庁舎3階 研修室
第5回	平成30年7月28日（土） （台風の影響により延期） 平成30年9月22日（土） 午後1時30分から午後4時まで	市役所西庁舎3階 研修室

## 3 ファシリテーター

名古屋大学大学院工学研究科 恒川和久准教授（プロフィールは、別紙1のとおり）

## 4 運営協力

名古屋大学恒川研究室学生

## 5 参加者延べ人数

114人

（第1回24人、第2回30人、第3回22人、第4回24人、第5回14人）

## 6 開催内容

	内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクチャー「本市の市役所整備へ向けたこれまでの取組について」 (長久手市総務部財政課)</li> <li>・レクチャー「公共施設のあり方と市役所の位置付け」 (名古屋大学大学院工学研究科 恒川和久准教授)</li> <li>・市役所等の施設見学</li> <li>・グループワーク「何を議論することが大事なのか」・・・今後のワークショップのなかで、何を話し合っていきたいか話し合いました。</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえり</li> <li>・レクチャー「上位計画における市役所の位置付けについて」 (長久手市総務部財政課)</li> <li>・グループワーク「市役所の立地について考えよう」・・・市役所の立地を考えるうえで、どのような評価項目が必要なのかという評価項目の検討から、実際に候補地を考えてみて、項目ごとに評価しました。</li> </ul>
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえり</li> <li>・グループワーク「新庁舎に必要な機能について考えよう」・・・市役所を建て替えるにあたって大事なことはなんなのか、どんな庁舎を目指すべきかを話し合いました。その中で、市役所を作っていくうえでのコンセプトを考えました。</li> </ul>
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえり</li> <li>・グループワーク「市庁舎等の事例から長久手市役所をイメージしよう！（機能編・空間編）」・・・具体的な市役所等の事例をまとめたカードを使いながら、「長久手市役所がこんな風になったらいいなあ」と、イメージを膨らませながらゲーム形式で前半を機能編、後半を空間編として、話し合いました。</li> </ul>
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえり</li> <li>・グループワーク「とりまとめ案に対してあともう一步」・・・とりまとめた案に対して、より大事なポイントはなんなのか、重視した方がいいことは何かなどの「あともう一步」の想いを出し合いながら、どんな風にとりまとめ案をワークショップの成果としていくかを話し合いました。</li> </ul>

ファシリテーター プロフィール

名古屋大学大学院工学研究科 准教授

つねかわ かずひさ  
恒川 和久 氏

( 略 歴 )

- ・名古屋大学工学部建築学科卒業
- ・大林組東京本社設計本部勤務
- ・名古屋大学工学部建築学科助手、同講師を経て現職
- ・公共施設マネジメント分野の第一人者であり、関連著書多数。県内市町村(名古屋市、豊川市、西尾市、蒲郡市、田原市、知立市など)においても総合管理計画や適正配置計画のアドバイザー、講演等多数実績あり。

( 資 格 )

- ・一級建築士

## Ⅱ 新庁舎などに関する意見（ワークショップのまとめ）

## 1 立地について

ワークショップでは、実際に市役所の立地を考えるうえで、どのような評価項目が必要なのかという評価項目の検討から、実際に候補地（1か所は市役所周辺）を考えてみて、それぞれを評価していきました。

### (1) 評価項目

主な評価項目は次の7つがあがりました。また、評価軸としてあがった主なものは次のとおりです。

#### ア 利便性

- ・公共交通（リニモ・Nバス・名鉄バス）の充実度（駅、バス停の距離）
- ・車でのアクセスのしやすさ（中心から少し外れても渋滞がない方がいいなど）
- ・交通渋滞の発生状況（日頃から渋滞が発生しているかどうか）

#### イ 中心性

市民が市役所に平等に行きやすい場所  
（人口の中心地か、地理的な中心地かなど）

#### ウ 安全性

- ・災害時に病院、消防署、避難所など他の防災拠点と連携がとりやすいような場所
- ・夜間の周辺道路の明るさ

#### エ 将来性

- ・人口増加に対応できる場所（拡張性があるかどうか）
- ・周辺の発展が見込まれるかどうか

#### オ 経済性

- ・候補地の土地を市が所有しているかどうか
- ・建設費の有無（新築・リース）
- ・既設施設の活用ができるかどうか
- ・引越し等移転費用

#### カ 親しみ

- ・新庁舎の候補地に慣れ親しんでいるかどうか

#### キ スピード

- ・早期に建設着手を進めることができるかどうか
- ・事業の確実性が高いかどうか

## (2) 候補地

主な候補地として、市役所周辺、古戦場公園付近、杵ヶ池公園付近があがりました。

評価項目	候補地		
	市役所周辺	古戦場公園付近	杵ヶ池公園付近
利便性	○ ・リニモからは離れている ・駐車場もあり車でのアクセスがしやすい	○ ・リニモの駅に近い ・交通渋滞があり、車でのアクセスはしにくい	○ ・リニモの駅に近い ・交通渋滞があり、車でのアクセスはしにくい
中心性	△ ・昔の中心地、地理的に中心地の少し北 ・人口の中心地からは少し外れている	○ ・地理的に中心地の少し南 ・人口の中心地からは少し外れるが今後人口増加が見込まれる	○ ・地理的に中心地から西より ・人口の中心地である
安全性	○ ・消防署、愛知医大などの拠点施設が近い ・夜道が暗い	◎ ・商業施設との連携が可能 ・リニモの高架が倒れる心配 ・夜道が明るい	○ ・リニモの高架が倒れる心配 ・夜道が明るい
将来性	○ ・北側に農地が広がり、農業発展が見込まれる ・近隣に空き地がある	◎ ・中心性が今後増す ・人が集まる商業施設がある	○ ・リースの場合、人口増加に対応可能 ・新たな土地の確保は困難
経済性	◎ ・土地を保有している ・建物の一部を残して利用も可能 ・職員の負担が少ない	○ ・一部土地を保有している ・建設費がかさむ	○ ・建設費不要（リースで借りる） ・自前の場合土地を買収する必要がある
親しみ	◎ ・慣れ親しんだ場所	○ ・商業施設がありたくさんの人が訪れている	○ ・商業施設がありたくさんの人が訪れている
スピード	△ 建替えにあたっては、都市計画の変更をする必要がある	△ 一部土地を市が保有しているが他の計画がすでに進んでいる	△ アピタは現在営業中の施設であるため難しい

※評価として「◎優れている」、「○普通」、「△劣っている」

その他の候補地として、上記3か所以外にもござらせ付近や棒振等といった意見がありました。

## 2 庁舎の考え方・求められるもの

ワークショップの中で、市役所を建てるにあたって大事なことはなんなのか、どんな庁舎を目指すべきかを話し合いました。

### (1) 機能性

#### ア 使いやすさ

- ・子どもからお年寄りまで使いやすい庁舎（バリアフリー・ユニバーサルデザイン）
- ・総合窓口を設置し、市民の移動を少なくして一か所で用事が済むようにする
- ・現在駐車場が満車で駐車できないことがあるため、駐車台数を確保する（近隣に臨時駐車場を確保するなど）。

#### イ 複合化

- ・市役所単独の施設ではなく、公民館、子育て支援センターをはじめとする既存施設の複合化のほか、コンビニ、カフェなどの日常使いできる施設との複合施設とする。

#### ウ 支所機能

- ・小学校区ごとに設置を進めている地域共生ステーションとの連携をはかり、地域に出向いてできることは地域で行う。
- ・市役所は司令塔としての役割、共生ステーションなどを支所機能としていき、行政と地域を連携させる役割が重要

#### エ 文化的機能

- ・個展等市民の作品が展示できるスペースや誰でも利用可能なフリースペース、会議室、自習室など、市役所に住民票を取りに来るなどの行政サービスを受けるだけでなく、その他に訪れる機会を作っていく機能が大事

#### オ 働く場所としての機能性や快適性

- ・資料を大きく広げて一時的に作業できるスペースであったり集中して作業できるスペースであったりを確保
- ・市役所建設を契機に、今後の行政サービスのあり方に相応しい職員の働き方を見直し、機能的で市民にとっても使いやすい執務室にする。
- ・職員の働く環境が良くなれば、仕事に対するモチベーションも上がり市民サービスの向上につながる。

### (2) 将来性

#### ア 人口増減への対応

- ・将来の人口増加や減少に対応できるように増築、改築がしやすい庁舎とする。
- ・将来の設備の改修を考慮し、改修がしやすい設計とする。
- ・短期間に増改築を繰り返すことないように、将来人口のピークに合わせた規模での整備が必要

## イ 多機能化・多様化

- ・会議室や議場は使っていない時、自習室などにして多目的に利用できるフレキシブルな活用ができる市役所
- ・今後の多様な行政ニーズに対応できるように、間仕切りを減らして、レイアウト変更しやすい庁舎とする。
- ・将来性を考えた、フレキシブルに長く使える庁舎とする。

## (3) 利便性

- ・現在のある庁舎の場所について「愛着」が歴史的にある。
- ・多機能化をする場合、一か所に全てを集めるのは限界があるため、広く分散するというのも必要で、ある程度の範囲で機能も場所も広く考える必要がある。

## (4) 安全性

### ア 防犯に強い

- ・市役所内に不審者が侵入した際に対応できるようにする（防犯カメラやさすまた等を設置する。）。
- ・個人情報多数扱うため、情報管理を徹底する（アクセス制限、入室制限など）。

### イ 規模・構造

- ・将来予想されている大規模地震にも耐えられる、耐震性のある強い構造の庁舎（鉄筋コンクリート造か鉄骨、免震構造）
- ・あまり縦移動がないように、3、4階建ての低層建築

### ウ 災害対応

- ・地震や災害が起こった際にインフラが途絶えるといけないので、そういった場合にも対応できるようにエネルギーを自給自足できる機能（特に電気、水）
- ・市役所は避難所としてのキャパシティを確保するのではなく、災害時に対応できるシステムの構築が大事

## (5) 経済性

- ・既存施設をリースすれば改修費用はかかるが、建替費用、土地代が不要となり新たに新築するより経済的
- ・既存庁舎を少しでも活用できれば、すべてを建て替えるより経済的

### 3 各スペース等について

ワークショップの中で、庁舎の各スペース等について、次のとおり意見がありました。

#### (1) 市民スペース

- ・市民が自由に使える大空間があると、イベントや教室等を開催できる。
- ・市役所に用事がなくても、食堂、カフェ、コンビニ等気軽に立ち寄れる施設があると、その他の用事を兼ねて市役所に来るきっかけとなる。
- ・子どもが一時的に待機できるキッズルームがあるといい。
- ・学区の情報交換等ができるように、市民同士が意見交換できる場所があるといい。

#### (2) 議会スペース

- ・議会だけで占有するのではなく、使用していない時は、多目的に利用できるといい。
- ・多目的に使用するため、机や椅子は可動式がいい。
- ・立ち寄りやすかったり、ふらっと来てもやっていることが分かりやすかったり、市民参加がしやすい、オープンな議場であってほしい。
- ・議会閉会時は、市民に貸し出して財源にあてる。

#### (3) 窓口・執務スペース

- ・ワンフロアに関連する窓口部署を集約して、一か所で用事が済むようにしてほしい。
- ・仕切りのないオープンな窓口がいい。
- ・個人情報多数扱うので、プライバシーに配慮した所も必要
- ・フリーデスクにして、フレキシブルな執務室にすることで柔軟な市民対応をしてほしい（基幹システムなど、固定のシステムなどに配慮が必要）。
- ・気軽に使える打合せ・相談スペースが欲しい。

#### (4) 屋外スペース

- ・日頃のイベントや防災時にも使える多目的広場（できれば全天候型）があるといい。
- ・満車で駐車できないことがあるので、広い駐車場（立体駐車場等）にして欲しい。
- ・雨の時など、屋根付きの車寄せがあるといい。
- ・植栽を市民団体に管理してもらえるような仕組みがあるといい。
- ・ガーデニングなどをできる区画を配置して、貸し出しする。

#### (5) 外観・構造

- ・災害拠点であるため、安心安全な構造（S造・免震）がいい。
- ・メンテナンスを考え余裕のある階高を確保した方がいい。
- ・木を多く使用した温かみのある内装（木質化）にしてほしい。
- ・自然に溶け込んだ緑豊かな外観にしてほしい。
- ・古戦場のまちなみを生かした個性のある外観にするというのも一つ
- ・木造庁舎を望む声はあまり多くなかった。

#### 4 ワークショップからの意見

- ・とにかく早く事業を進めてほしい。
- ・今回のワークショップにおいて出てきた意見を、可能な限り今後の新庁舎の設計に反映させてほしい。
- ・市のみで進めるのではなく、今後も市民と一緒に進めてほしい。
- ・今後の各段階において、ワークショップや説明会、パブリックコメントなど再度、市民の意見を聴く機会を設けてほしい。
- ・ワークショップの意見がどのように反映されたのか、その結果を教えてほしい。
- ・新庁舎の進捗状況を広報などで市民に知らせてほしい。

### Ⅲ 各回開催結果（ワークショップ通信）

# 市役所等公共施設整備 ワークショップ通信

01



平成30年3月11日(日)13:30~16:30 【参加者:24人】

## 《プログラム》

- 13:30 あいさつ
- 13:40 レクチャー1  
「本市の市役所整備へ向けたこれまでの取組について」
- 14:00 レクチャー2  
「公共施設のあり方と市役所の位置付け」
- 14:30 市役所等の施設見学
- 15:00 グループワーク
- 16:20 講評・次回のご案内

市役所の建替えに向けて、市民にとって、今後の市役所はどのようなもので、どうあるべきかという総論的なことから、設計に向けての仕様書などに取り入れていくためのご意見ご提案等を話し合うための市民ワークショップが始まりました。(全5回)

第1回目には、24の方が集まり、みなさん熱心に意見交換されていました。

【長久手市総務部次長兼財政課長 浦川さんよりあいさつ】

長久手市は、今は人口増加していますが、今後20年後30年後には減少していくこととなります、先を見据えた今後の市役所のあるべきすがたを市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。また、ファシリテーターには、昨年の公共施設のあり方検討市民ワーキングの際にもお世話になりました、名古屋大学大学院恒川准教授にお願ひしています。



## 【市役所整備へ向けたこれまでの取組について】

市の財政課担当者から、公共施設の状況の話から、市役所整備に向けてのこれまでの検討経過や必要性、市が現在考えている内容についてのお話がありました。



### 長久手市の公共施設の現状

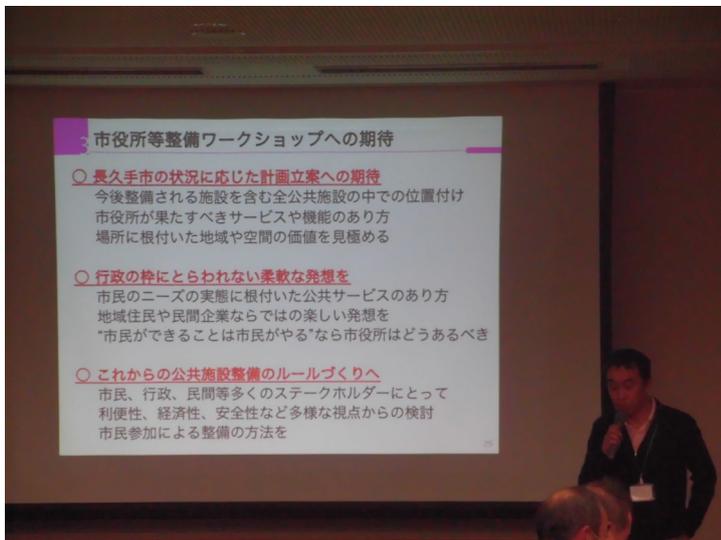
施設名	竣工年度	築年数	備考
市役所本庁舎	昭和42年	50年	H15年度耐震改修済
長久手小学校	昭和44年	48年	
市役所西庁舎	昭和49年	43年	H20年度耐震改修済
長久手中学校	昭和49年	43年	H28～30年度大規模改修中
西小学校	昭和51年	41年	H32～34年度大規模改修予定

市役所は、市内の公共施設の中で、一番古い建物となっており、築50年が経過しています。そのため、老朽化も進んでおり、設備の修繕費用が増大しています。市役所は、耐震補強は実施済みですが、地震発生後に庁舎機能を維持するためには、非構造部材(天井、壁、窓ガラス等)の耐震補強を行うことが必要になるという課題もあります。そのような現状があり、市役所の整備に関する検討を行った結果、整備規模としては総務省基準による算出結果及び事例規模を勘案して、庁舎の執務スペースとしては10,000㎡を想定しています。位置については、用地取得が少なくてすむ現在の市役所周辺地域を考えています。

市役所は、市内の公共施設の中で、一番古い建物となっており、築50年が経過しています。そのため、老朽化も進んでおり、設備の修繕費用が増大しています。市役所は、耐震補強は実施済みですが、地震発生後に庁舎機能を維持するためには、非構造部材(天井、壁、窓ガラス等)の耐震補強を行うことが必要になるという課題も

## 【公共施設のあり方と市役所の位置付けについて】

恒川先生から、全国的な公共施設の急速な老朽化、人口減少と少子高齢化、厳しい財政状況など公共施設を取り巻く環境の説明がありました。本市は、愛知県内の自治体ではもっとも古い施設の比率が低いことや、公園、大学、大型商業施設といった社会資本の充実度はきわめて高く、人口も増加傾向にあり、施設需要は高まり、今後も公共施設の整備も想定されるなか、市役所も公共施設のひとつであることから、市全体の施設やサービスのあり方の一環として考えるべき



きとのお話がありました。その後、平成29年度に実施したFMワーキングのお話があり、まとめの中で、市役所を始めとする大きな施設は「市の顔」となるような魅力ある拠点整備が望まれるとあり、今回のワークショップでは、今後整備が予定されている施設を含めた全公共施設の中での位置付けや、「市民ができることは市民がやる」なら市役所はどうあるべきなのか。行政の枠にとらわれない柔軟な発想に期待しますという話がありました。

## 【市役所探検!あらためて現状の建物がどうなっているか確認しました】



財政課の水草さんから建物の現状についての説明がありました。「建物の老朽化」や「事務スペースの狭小」など困りごとの話がありました!

## 【グループワーク】(テーマ:何を議論することが大事なのか)

今後のワークショップのなかで、何を話し合っていきたいか話し合いました。「市役所までのアクセスがいいといいな」「コンビニやコーヒーショップがあるといいな」「議場の多目的利用」など市役所に期待する意見や、「施設の維持管理にかかるコストが少ない」などの維持管理に関する意見など様々な意見が寄せられました。

### 1) まずは自己紹介

みなさんの前向きな雰囲気が印象的でした



### 2) 市役所に対する想いを話し合いました

身近な市役所とあって各テーブル盛り上がっていました



### 3) 全体発表

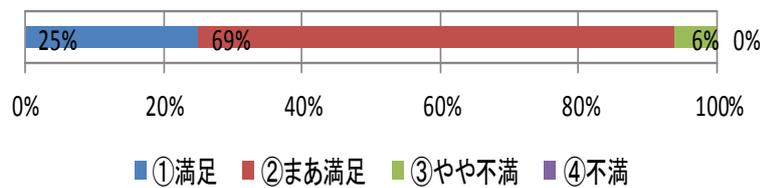
最後にグループで出た意見を全体で共有しました

- Aグループ 市民が考えることと、専門家が考えることをまず分けて考える必要がある。
- Bグループ 災害時に安心安全な建物であってほしい。建替えを前提で進めればいいが、場所はみんなが集まれる場所がいい。
- Cグループ 身近な施設になるような複合化をしてほしい。岩作城跡など歴史的なことも考えた方がいい。
- Dグループ 市役所は市民にサービスを提供する場所なので、利便性の良いところに建てた方がいい。地域の団体と連携できる施設になってほしい。

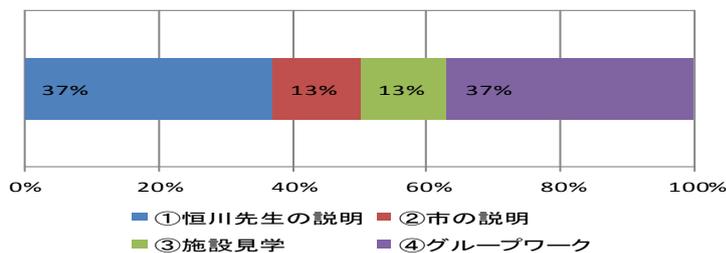


## 【アンケートより】

### 1) 本日のワークショップについて



### 2) 特に良かったことについて



### 3) その他

・現在の庁舎での不便さ、市民へのサービス向上など職員側からの意見も聞きたい。

・初参加でいろいろ勉強になった。

・建替えは待たなしの状況にあると思います。

・市役所前の道路は信号間隔も狭く、年中渋滞している。その点でも、この敷地で、建替えることのデメリットもあると思います。

## 【次回ワークショップの案内】

日 時:平成30年4月21日(土)

午後1時30分から午後4時30分まで

場 所:長久手市役所西庁舎3階研修室

申込方法:事前申込み不要(どなたでも参加可能です。)

内 容:ふりかえり

立地に関するグループワーク

### 第3回目以降のスケジュール

第3回 平成30年5月20日(日)

第4回 平成30年6月23日(土)

第5回 平成30年7月28日(土)

※すべて開催時間は午後1時30分から

午後4時30分まで

※第3回の会場は長久手交流プラザになります。



# 市役所等公共施設整備 ワークショップ通信

02



地域スマイルポイントの  
対象ワークショップだよ!

平成30年4月21日(土)

13:30~16:30【参加者:30人】

## 《プログラム》

- 13:30 あいさつとふりかえり
- 13:40 レクチャー  
「上位計画における市役所の  
位置付けについて」
- 13:50 グループワーク  
「市役所の立地について考  
えよう」
- 16:00 全体発表
- 16:20 講評・次回のご案内

市役所の建替えに向けて、市民にとって、今後の市役所はどのようなもので、どうあるべきかという総論的なことから、設計に向けての仕様書などに取り入れていくための色々なご意見ご提案等を話し合うための市民ワークショップが始まっています。(全5回)

4月21日には、第2回目が行われ、30人の多世代の方が集まりました。今回はその時の様子をお届けします。

## 【ふりかえりと上位計画における市役所の位置付けについて】

市の財政課担当者から、前回のワークショップのふりかえりから「土地利用計画」の中での市役所周辺の土地利用の方向性についての位置付けについてのお話がありました。



市役所周辺は、老朽化した市庁舎を建て替えることによって、防災拠点としての機能を充実することや、高齢者をはじめ多様な世代が健康に暮らすため健康づくりセンターの機能を備えた総合体育館の整備をすることになっており、都市機能集積区域に位置付けられています。

## 【グループワーク】(テーマ:市役所の立地について考えよう)

4グループに分かれて、実際に市役所の立地について検討しました。市役所の立地を考えるうえで、どのような評価項目が必要なのかという評価項目の検討から、実際に候補地を3か所(1か所は市役所周辺)考えてみて、それぞれ評価していきました。子ども、子育て



真っ最中のお母さん、お父さん、地域のおじいちゃん、大学生など、それぞれの立場から意見を出し合いました。評価項目一つとっても、「利便性」や「経済性」などから「親しみ」といったユニークな項目があがりました。

① 個々の市役所への想いをふせんに書き出しました



② 模造紙に評価項目や候補地を書き出しました



### ③ 全体発表

最後にグループで出た意見を全体で共有しました

グループ名	主な意見	評価項目	候補地
Aグループ	利便性については、交通利便性と公共機能の集約についての利便性の2項目に分けて考えました。	中心性、利便性、防災拠点、将来性、実現性	市役所北側、リニモテラス、ござらっせ
Bグループ	市役所周辺は既に土地を保有していたり、病院や消防署が近くにあるので経済面・防災面で有利。古戦場公園周辺は人が集まる施設があるため、親しみがある。	利便性、将来性、経済性、親しみ、安全性(防災)	市役所、古戦場公園付近、棒振(トヨタ博物館付近)
Cグループ	場所より評価項目の議論が多かった。新たに建てるのではなく、既存建物をリースするというのも経済性・リスクを考えました。	人口、(公共)交通アクセス、都市の作り方、防災公園施設、コスト・リスク	市役所、様々な機能を市内に点在(1つの候補地でなくて良い)、アピタ建物内
Dグループ	市役所の場所がコロコロ変わるのはいかがでしょうか。移動した場合、今ある生活がおかされてしまう。	アクセス、防災、利便性、現実性	市役所裏、杵ヶ池公園付近、イオン北付近

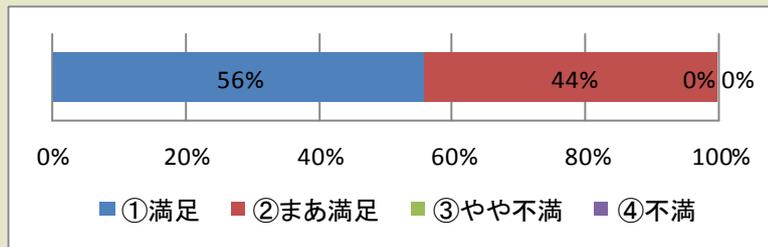
### ④ 恒川先生からのまとめ

候補地としてあがったのは、古戦場公園付近、杵ヶ池公園(アピタ)、ござらっせ付近、棒振と立地一つにしても、いろいろな考え方がある。多様性がある。今日いただいた様な意見からしても、それぞれの土地にメリットデメリットがあることを示している。デメリットがある所についてはどの様に補っていくのか、これからの市役所をどの様に作っていくのか、交通、防災をどの様に考えていくのかにつながっていく。WSの成果もまとめて今後の議論に反映させていきたい。



## 【アンケートより】

### 1) 本日のワークショップについて



### 2) グループワークについて

- ・利便性、経済性、防災面、細かに分解して議論する所がなかなかむづかしい。
- ・多くの視点で議論できて楽しく会話できました。
- ・分散させるという考えは、自分にはありませんでした。
- ・多様な意見が多く参考となった。

### 3) 全体発表について

- ・グループごとで意見が結構ちがっているということが印象的でした。
- ・いろいろな意見があり、利便性に対する考え方も様々だった。

### 4) その他

- ・市役所たてかえについて、現状を知ることができてよかった。
- ・小さい子どもやお母さんが参加なされているので、多方面からの意見が聞いたことがよかったと思います。

## 【次回ワークショップの案内】

日 時:平成30年5月20日(日)

午後1時30分から午後4時30分まで

場 所:長久手交流プラザ1階多目的室

申込方法:事前申込み不要(どなたでも参加可能です。)

内 容:新庁舎に必要な機能に関するグループワーク

### 第4回目以降のスケジュール

第4回 平成30年6月23日(土)

第5回 平成30年7月28日(土)

※すべて開催時間は午後1時30分から

午後4時30分まで

※会場は西庁舎3階研修室になります。



# 市役所等公共施設整備 ワークショップ通信

03



地域スマイルポイントの  
対象ワークショップだよ!

平成30年5月20日(日)

13:30~16:30【参加者:22人】

## 《プログラム》

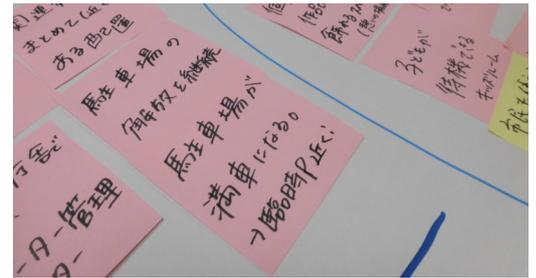
- 13:30 あいさつとふりかえり
- 13:40 グループワーク  
「新庁舎に必要な機能について考えよう(前半)」
- 15:00 グループワーク  
「新庁舎に必要な機能について考えよう(後半)」
- 16:00 全体発表
- 16:20 講評・次回のご案内

市役所の建替えに向けて、市民にとって、今後の市役所はどのようなもので、どうあるべきかという総論的なことから、設計に向けての仕様書などに取り入れていくための色々なご意見ご提案等を話し合うための市民ワークショップが始まっています。(全5回)

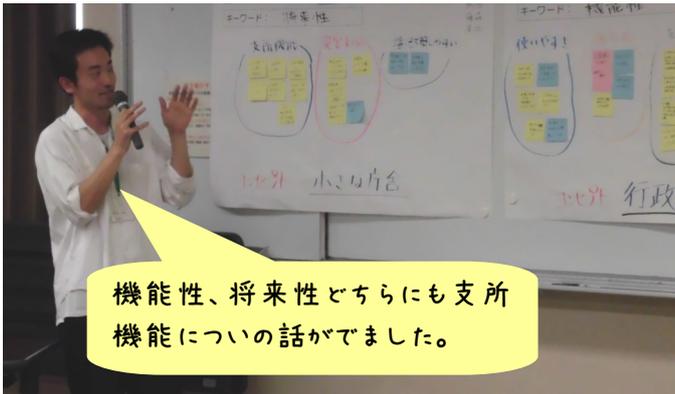
第3回ワークショップでは、新庁舎の機能について、意見交換を行いました。今回はその時の様子をお届けします。

## 【グループワーク】(テーマ:新庁舎に必要な機能について考えよう)

今までの2回のワークショップから出てきた7つのキーワードの中から2つ選んで市役所を建て替えるにあたって大事なことはなんなのか、どんな庁舎を目指すべきかを話し合いました。その中で、市役所を作っていくうえでのコンセプトを考えました。



### 【Aグループ】(選んだキーワード:①機能性②将来性)



機能性、将来性どちらにも支所機能についての話ができました。

○市役所は司令塔として、各校区に進めている地域共生ステーションなどを支所機能とし、連携していくことが大事。

○市役所自体をコンパクトにする。

○災害時に対応できるシステムを構築することが大事である。

○人口の増減に対応できる、増改築しやすい庁舎を設計する必要がある。

#### 【コンセプト】

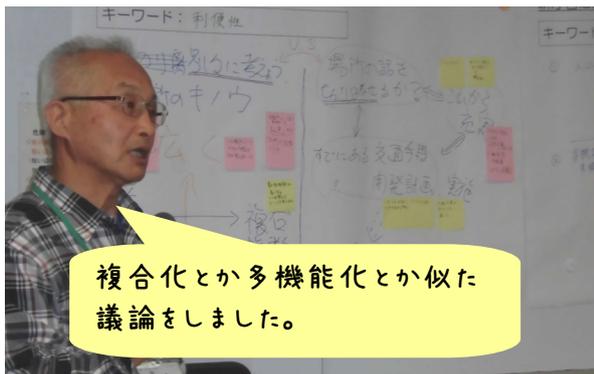
- ・行政と市民の共働
- ・小さな庁舎

### 【Bグループ】(選んだキーワード:①利便性②将来性)

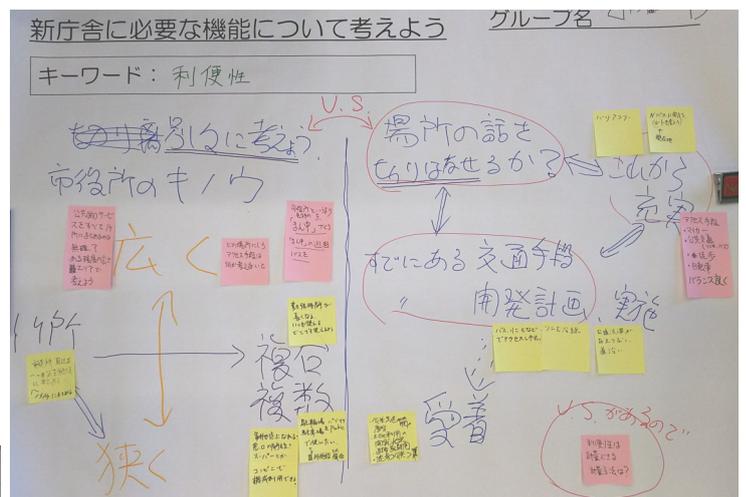
○既に色々な計画があつて進んでいるので、そういう流れに沿って考えないといけない。

○場所は、現在のある場所について愛着という物が歴史的にもある。

○複合化とか多機能化を考えると一か所に集めるというのは無理なので、ある程度の範囲で機能も場所も広く考えた方がいい。



複合化とか多機能化とか似た議論をしました。



○利便性というのは計れるので、計量して客観的に数字で出した方がいい。

○長期的な視点から人口のピークに合わせた規模で整備しないとイケない。人口減少に対して、スリム化省力化も必要。

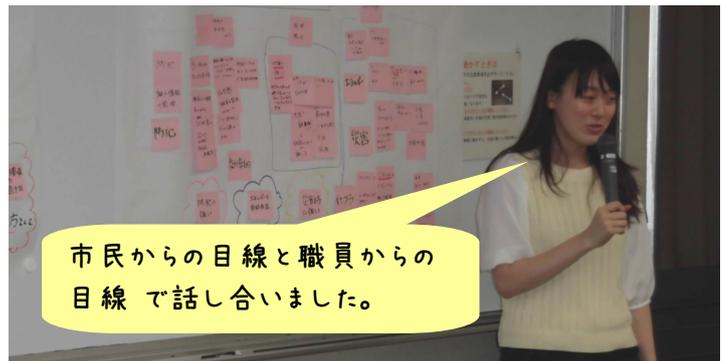
## 【Cグループ】(選んだキーワード:①安全性②機能性)

○不審者の侵入や多くの個人情報を取扱っているため、防犯に強い庁舎にする。

○地震や災害時にインフラが途絶える心配があるため、エネルギーを自給自足できる機能が必要。

○市役所に住民票を取りに来るだけでなく、訪れる機会を作っていくため、文化的機能(自習室など)が大事。

○職員の働く環境が良くなれば、仕事に対するモチベーションが上がって市民にも還元できる。



市民からの目線と職員からの目線で話し合いました。

### 【コンセプト】

- ・防犯に強い、エネルギーを自給自足、災害時に強い頼れる庁舎
- ・自由度が高い×働く環境の快適性

## 【Dグループ】(選んだキーワード:①機能性②経済性・将来性)

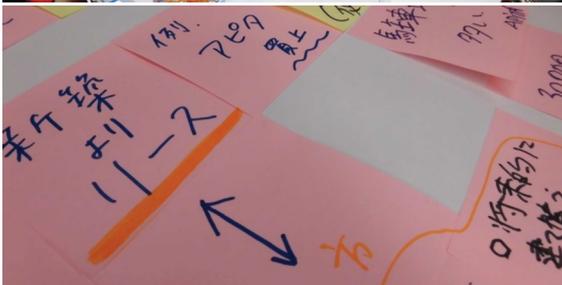


○フレキシブルな活用ができる市役所がいい。会議室や議場は使っていない時、自習室にしたりとか多目的に利用する。

○建物の複合化ではなく、ちょっとした公園を併設して市民の交流を促す市役所にする。

○人口減少を前提としてアピタをリースすれば、建替える費用や、土地代がかからないので、経済的。

○一方で、市役所は住民が頼れる場所であってほしい。木造にするとかしてシンボルになるようにして、長く使える市役所を今の場所でいいので造るのも大切。



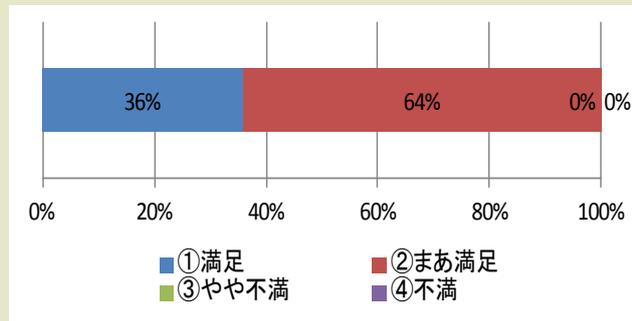
### 【恒川先生からのまとめ】

振り返ってみると、機能性、利便性、将来性について議論されたグループが多くありました。一方で、拠点性や環境といったことには触れられたグループがありませんでした。どうしても抽象的な議論にならざるをえないなかで皆さんから色々なアイデアがいただけたのではないかと思います。次回以降は、今までに議論のなかった公民館や子育て支援センターといった今ある複合的な機能とそれらがどの様に連携していくのか、より具体的な議論ができるようにしていきたいと思います。



## 【アンケートより】

### 1) 本日のワークショップについて



### 2) グループワークについて

- ・メンバー入替えて新鮮な視点味わえました。
- ・将来性のことも踏まえながら現実的なことを議論ができた。

### 3) 全体発表について

- ・多岐にわたるご意見についても必ず共通点があり、方向性については、一致している点が面白い。

### 4) その他

- ・参加人数は少なめでしたが、初めてお会いする方も何人かいらっしまったので、大変有意義でした。
- ・市の将来を決定するWSで大変重要と思う。
- ・スリムな行政、市民に役割を移す支所機能化など、箱物に過大な投資をしてはならない。

## 【次回以降のワークショップの案内】

### 第4回ワークショップ

- 日 時:平成30年6月23日(土)  
午後1時30分から午後4時30分まで
- 場 所:長久手市役所西庁舎3階研修室
- 申込方法:事前申込み不要(どなたでも参加可能です。)
- 内 容:新庁舎に必要な機能に関するグループワーク

### 第5回ワークショップ

- 日 時:平成30年7月28日(土)  
午後1時30分から午後4時30分まで
- 場 所:長久手市役所西庁舎3階研修室
- 内 容:ワークショップの総まとめ



# 市役所等公共施設整備 ワークショップ通信

04



地域スマイルポイントの  
対象ワークショップだよ!

平成30年6月23日(土)  
13:30~16:30【参加者:24人】

## 《プログラム》

- 13:30 あいさつとふりかえり
- 13:40 グループワーク  
「市庁舎等の事例から長久手市役所をイメージしよう! (機能編)」
- 15:00 グループワーク  
「市庁舎等の事例から長久手市役所をイメージしよう! (空間編)」
- 16:00 全体発表
- 16:20 講評・次回のご案内

市役所の建替えに向けて、市民にとって、今後の市役所はどのようなもので、どうあるべきかという総論的なことから、設計に向けての仕様書などに取り入れていくための色々なご意見ご提案等を話し合うための市民ワークショップが始まっています。(全5回)

第4回ワークショップでは、色々な事例の写真から新庁舎のイメージを膨らませながら意見交換を行いました。今回はその時の様子をお届けします。

## 【グループワーク】

(テーマ:市庁舎等の事例から長久手市役所をイメージしよう!)

今回は、具体的な市役所等の事例をまとめたカードを使いながら、「長久手市役所がこんな風になったらいいなあ」と、イメージを膨らませながらゲーム形式でまとめていきました。まず、初めに恒川先生から事例カードの簡単な説明の後、前半を機能編、後半を空間編として、話し合いました。



## 【グループワークの様子と各グループの主な意見】

### 【Aグループ】



打ち合わせスペースがたくさんあるといいね。

○議会は年に4、5回程度、議場を主に考えて、使っていない時期を多目的なスペースに利用する。

○スペース的に余裕があれば、広いレストランとかカフェがあるといい。

○市役所の隣には、広場があると色々使えると思う。

○木をふんだんに使った、木造又は木質化で、適材適所で木を使って、自然と溶け込む市役所がいい。



公園の中にあるというような、イメージの市役所がいいなという意見が出ました。

### 【Bグループ】

○多目的な議場にみんな賛成だった。

○席を固定せずに、ノートパソコンやタブレットにするとフレキシブルな執務室となり、横の課との連携も強まり、窓口の案内も自由にできる。

○展示室やイベント、教室が開催できる大空間があるといい。

○安心安全な建物で、長く続いていく庁舎ということで「100年建築」

○構造は「S造」、経済性を意識している。ただし、露骨でもいけないので、中は木を基調とした木質化をし、暖かみをもたせる。



後々の改修等も考慮して、余裕のある階高にした方がいいね。



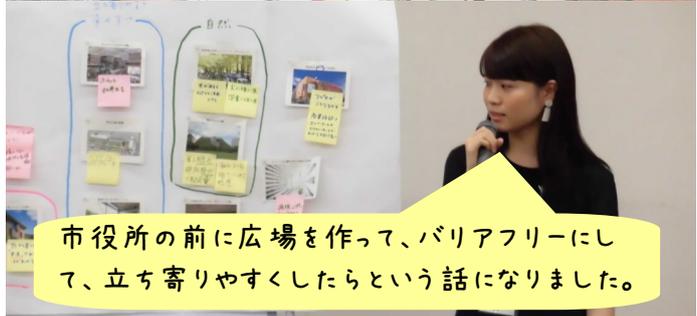
総合窓口は、ノウハウのある部長さんや再任用の職員さんと面白いよねという話がありました。

## 【Cグループ】

- 窓口空間は開放的なのがいいが、プライバシーも大事。
- 立ち寄りきっかけとなる、市民も使える食堂があるといい。
- 古戦場のイメージが強いので、物見櫓に見える物とか個性を出してもいいかも。
- 各学区の個性が強いと言う話から、各学区の意見を交換する場所が意外と無いので、気軽なおしゃべりができる場所があるそういう仕掛けがある執務空間や窓口空間だといい。



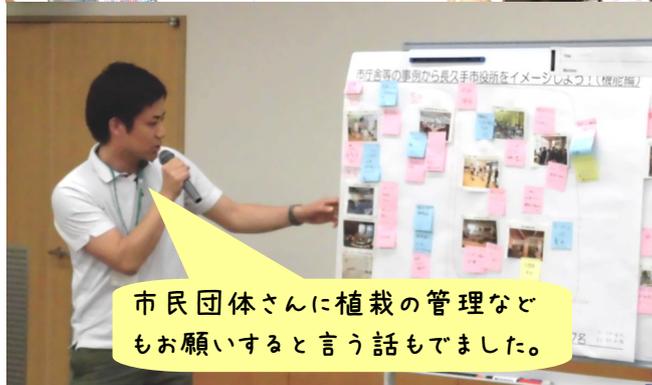
長久手市は各学区の個性が強いと思うよ。



市役所の前に広場を作って、バリアフリーにして、立ち寄りやすくしたらという話になりました。



オープンで多目的に利用できる議場っていいですね。



市民団体さんに植栽の管理などもお願いすると言う話もできました。

## 【Dグループ】

- 執務空間は開けた空間が必要であるが、個人情報扱うため、閉じた空間も必要。
- 議場を一般開放するのは、財源の確保にもなり、開けた議場というのもアピールできる。
- 市民に開放する食堂、ファーマーズマーケット、フィットネススペース、カフェこういった所で、気軽に市民の方に市役所を利用してもらい、合わせて、市の機能を利用させていただく。
- 木を構造的に活用するには、お金がかかると思うので、意匠的に木を使い視覚的に訴える。
- 緑化について、ガーデニングなどができる区画を配置して、貸出しをする。

## 【恒川先生からのまとめ】

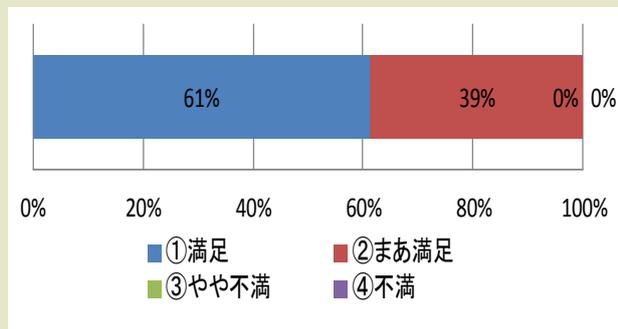
今日は色々な事例の写真から、自由に議論いただきました。事例を私どもが選んでいることもあり、少し誘導的になっていた所もあるのかなと思います。とはいえ、それぞれの窓口、議場、執務スペースといった、部分部分の話について皆さんに活発にご議論いただき、その中身について、よくご提案をいただいたと思います。次回最終回では、このワークショップの取りまとめということで、取りまとめていくものについて、皆さんからご意見をいただきたいと思っています。



恒川 和久 准教授

## 【アンケートより】

### 1) 本日のワークショップについて



### 2) グループワークについて

- ・具体的事例があってグループワークがしやすかった。
- ・恒川先生より詳細大量の事例を開示いただき、凄く参考になり、イメージが沸いた。
- ・新しい形式で今までよりも様々な話題が発生していたと思います。
- ・多様な意見が出て、参考になることが多かったです。

### 3) 全体発表について

- ・どの班も似た意見が出ていて、市に対する考えを知ることができた。
- ・特徴のある機能構造等のみならず、現実的なコスト面の話もあり、意外だったが興味深かった。
- ・具体的な発言も聞くことができました。

### 4) その他

- ・このワークショップは、市職員の方も活発に発言され、双方の実際の使い勝手も考え交流できてとてもよかった。
- ・他市もいろいろ一生懸命工夫していて、感心した。
- ・庁舎の利用者は議員、職員もこの2者の声の集約が議論される場が必要では
- ・次回も参加します。

## 【次回のワークショップの案内】

### 第5回ワークショップ(最終回)

3月から毎月行ってきたワークショップも今回で最後となります。今までのふりかえりからワークショップの総まとめを行います。初めての参加やお子様連れの方の参加も大歓迎です。ぜひご参加ください。

日 時:平成30年7月28日(土)

午後1時30分から午後4時30分まで

場 所:長久手市役所西庁舎3階研修室



# 市役所等公共施設整備 ワークショップ通信

05



地域スマイルポイントの  
対象ワークショップだよ!

平成30年9月22日(土)  
13:30~16:00【参加者:14人】

## 《プログラム》

- 13:30 ふりかえりととりまとめ案の説明
- 13:50 グループワーク  
「とりまとめ案に対してあともう一步」
- 15:30 全体討論  
各グループの報告と意見交換
- 15:45 講評・あいさつ
- 15:55 全体写真撮影
- 16:00 終了

市役所の建替えに向けて、市民にとって、今後の市役所はどのようなもので、どうあるべきかについて、色々なご意見やご提案を話し合う市民ワークショップが平成30年3月から全5回行われました。

最終回となる、第5回ワークショップでは、とりまとめ案に対して、「あともう一步」の想いを出し合いながら、これまでのワークショップのまとめを行いました。今回はその時の様子をお届けします。

## 【ふりかえりととりまとめ案について】

市担当者から、これまでのワークショップのふりかえりとワークショップの意見を取りまとめた案についてのお話がありました。

とりまとめ案は「立地について」「庁舎の考え方・求められるもの」「各スペース等について」「ワークショップからの意見」の4段構成になっています。



## 【グループワーク】(テーマ:とりまとめ案に対してあともう一步)

2グループに分かれて、とりまとめた案に対して、より大事なポイントは何なのか、重視した方がいいことは何か、言い忘れたことはないかななどの「あともう一步」について思いが寄せられ、どんなふうにとりまとめ案をワークショップの成果としていくかを話し合いました。

## 【グループワークの様子】

式年遷宮みたいに玉突きで動いていく方が現実的かな。

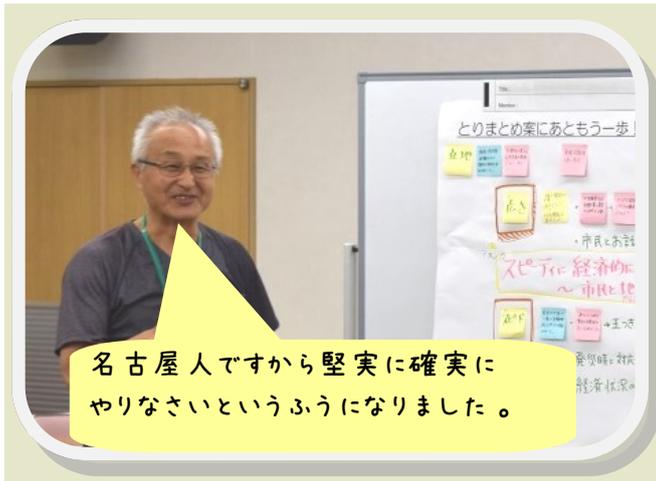
今後もこう言った話し合いの場があるといいですね。

スピードという評価項目があるといいね。

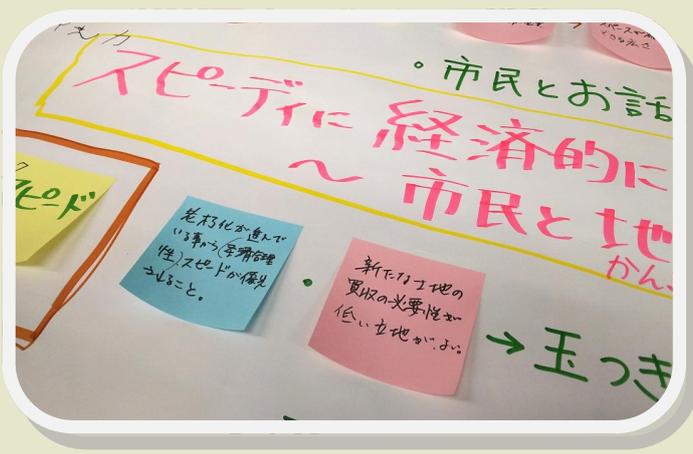
特に重要性があるものを5つの意見にまとめました。

とりまとめ案にあともう一步!

- ① とにかく早く実現!
- ② 候補地は市役所周辺で!
- ③ 市民職員の利便性
- ④ 庁舎(建物)の安全性
- ⑤ 今後も意見交換の機会を継続!



名古屋人ですから堅実に確実に  
やりなさいというふうになりました。



## 【恒川先生からのまとめ】

両グループとも「スピーディに早く」という話がありました。これまでの議論の中でもありましたが、とりまとめ案にはあまり書かれていなかったもので、市に対して「もっとスピード感をもってやれよ」という発破をかけられたというような意味合いで、これは市民の声として非常に重要なことだと思います。とはいえ、課題のある中で、何を重視するのかというところで、経済的にか便利に、利便性とか機能性とか両グループからも出て、それに対して、「具体的なことを市民とよく話し合っつけていきましょう。」というのが両グループからの話だと思います。

このWSは閉じますが今後、ここで議論されたことが、行政の中で生かされて、あるいは市民に伝えられて行くことを私も望んでいますし、是非そうしていただきたいと思っています。



## 【事務局から】

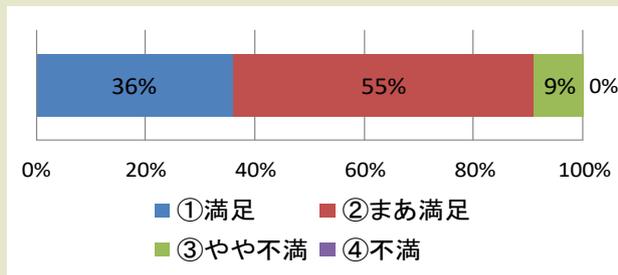


浦川 財政課長

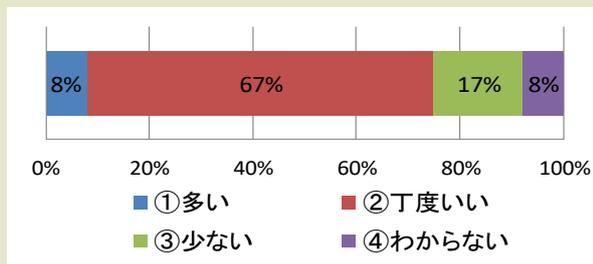
半年という長期の期間にわたってしまいましたけども、その中で、非常に皆様には色々と活発な議論をしていただきまして本当にありがとうございました。今回くしくも、両グループとも「スピーディ」ということで、職員にとっては、叱咤激励と受け止めたいと思います。私どもも、法的な手続きが今後必要になってくるものですから、中々前に進むことが難しい部分もありますが、やはり皆様からいただいた御意見を参考に、今後なるべく早く防災拠点としての、市民が集える場所としての色々な機能を兼ね備えた市役所に建て替えていくような事務を順次進めていきたいと考えています。今後は、また一歩進んだ段階におきましては、市民の皆様にご意見を頂戴する機会を設けていきたいと思っておりますので、是非そういった機会にはご参加いただければと思います。

## 【アンケートより】

### 1) 本日のワークショップについて



### 2) 実施回数(全5回)について



### 3) グループワーク・全体発表について

・恒川先生にアドバイザーになっていただき、学生の方にも参加いただき、方向性、情報の提供が有意義であった。

- ・個人の話が多く前に進まなかった。
- ・現在の市庁舎の老朽化を不安に思っている市民が多いこと。
- ・市民は早く市役所庁舎の建設を求めていることが改めて確認できた。

### 4) その他

- ・相手のあることですが、玉突き方式でいくのであれば駅周辺の民間施設に一部の機能を移転することを考えた方がいいと思います。
- ・早い時期に実現を期待します。
- ・今後の経緯、結果をお知らせください。
- ・これから市民がどうやって、市庁舎の建設プロセスに参加できるのを知りたい。
- ・必要性をもっと広くPRする。(参加者を増やす工夫)



**ご参加ありがとうございました!!**